

## 【開催レポート】

# えんがわフェスタ2021

## ～調布のちょっと先の未来描こう～

2021年2月27日（土）「えんがわフェスタ2021～調布のちょっと先の未来を描こう～」を開催しました。例年は、京王線国領駅徒歩1分、あくろす2階にある市民活動支援センターを会場に開催していますが、今回は新型コロナウイルス感染予防対策のため、フルオンラインで開催となりました！ 「調布のちょっと先の未来を描く」を合言葉に、約50名の方々にご参加いただき、「多文化共生」「学生の自習スペース不足」「子育て」の3つの分科会に分かれ、意見交換や情報共有を行い、よりよい調布の未来に向かって話し合いました。

### 開催にあたって

今回は、調布に縁のある外国籍の方にもご参加いただきました。円滑なコミュニケーションを行うための英語字幕や、通訳者の手配など、センターにとって初の挑戦でした。そのため、スムーズな進行にご協力いただくための諸注意を開会前にご案内しました。

### オープニング

調布市市民活動支援センター運営委員の枝見氏より、市民活動支援センターの意義やえんがわフェスタの目的、今回のテーマについてお話いただきました。

市民活動支援センターは、2000年代に入り、政府・行政と企業や市民が協働してまちづくりを行うことが一般的になり、調布市も市民がより主体的に積極的に社会参加できる機会を整備するため、2006年に開設。運営は調布市社会福祉協議会が委託を受け、誰もが気軽に参加できる「まちのえんがわ」を目指して活動している。




えんがわフェスタは、市民が社会や人の役に立ちたいと思っても何をどのようにすれば良いのかわからなかったり、そのきっかけに出会うことが難しかったりする場合があるため、その時々話題や社会課題を取り上げ、誰もが参加できる機会を作ることを目的にセンター開設当初から実施しているイベント。

今回は、①多様化する社会で、外国にルーツを持つ住民の方々や②核家族化でサポートが受けられず、孤立化してしまう子育て世代、③コロナ禍で課題となっている若者を取り巻く環境について、何ができるか考えてみたい。調布は都心へのアクセスがよく、たくさんの緑に囲まれた文化的で住みやすいまち。これからもますます調布が住みやすく、よいまちであり続けるために、地域住民の主体的なまちづくりへの参画が大切。

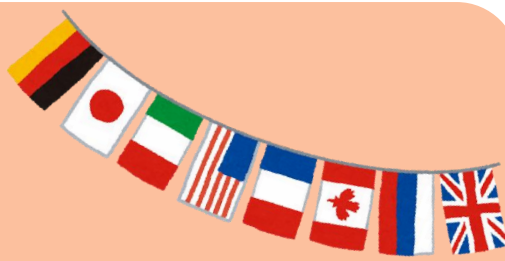
今回は、3つの分科会の中から興味のある分科会1つを選んで参加していただきました。予定していた45分間では時間が足りないほど話が盛り上がり、急遽時間延長することになりました。

## 1 多文化共生

3名の外国にルーツを持つ方々から、コロナ禍での経験を語っていただきました。

-  2017年に日本に来られたジャマイカ出身の方は、コロナ禍の生活支援に関する英語の情報がなく苦労されたという経験を共有してくださいました。
-  イランから来られて13年になる方は、ご自身の生活は、日本人のお連れ合いや日本に住むイランの方々のネットワークでなんとか大丈夫とのことでしたが、ご自身の仕事がないことや義母の住む埼玉への越境移動が難しいことなど、苦労されていました。
-  調布在住歴20年以上で、フィリピンの方々のネットワークの中心でもある方。コロナ禍で普段の人付き合いができないことが、ストレスと話してくださいました。また、日本の生活は長くても学校のお知らせなど紙に書かれた日本語の情報が難しく、友達や義母に聞いて助けってもらうこともあるそうです。


### 多文化共生分科会 まとめ





日本人以上にコロナ禍の困難を経験された外国にルーツを持つ3人の市民の経験談を通して、外国籍の方々や市民が集って話せる身近な場（例えば「しばさき彩(いろどり)ステーション」や公共施設）で隣人・友人とのネットワークを一緒に育み、彼らにとっての“Bridge to self-navigate”（自分で動けるようになるための橋渡し役）ができるようにするのが大切だということをご共有しました。


## 2 学生の自習スペース不足


中高生、大学生、大学院生、企業の方など多様な方々が参加しました。

 まずは今どこで学習しているのかを共有し、自宅のほか、オンライン学習や学校、中には河川敷で歩きながら単語帳を覚えているという学生もいました。その他、自宅では年下の兄弟がいて、集中できないといった声や、中国からの留学生大学院生からは、中国での学習場所について共有していただきました。

 学生にとって理想的な自習スペースとはどんな場所なのか、意見を出し合い、個人で集中できるスペースの他にも、お互いに教え合えるようなスペースの必要性や、具体的なレイアウトなど色々な希望が出ました。

 調布の学習スペースは、無料だとたづくりにある中央図書館、市民活動支援センターのはばたき、CAPS、青少年交流館の一部、それから西部公民館があること。有料で自習室を運営している民間企業もあり、市内には2ヶ所ぐらいあることを確認しました。

 民間企業の参加者からは、空いている時間帯であれば、既存の会議室の提供はできるのではと提案があったほか、学生個人にではなく、団体への提供ということであれば、地域貢献を含めた連携という視点で、情報や金銭的な提供もできるかもしれないとアイデアをいただきました。

 また、地元のレストラン等と提携して、お客さんの少ない時間に、飲み物などを定額で提供してもらい、自習スペースとして開放してもらうような提案もできるかもしれないという意見が出ました。

### 学生の自習スペース不足分科会 まとめ

学生の生の意見や気持ちを聴き、便利で活用しやすい自習スペースが不足しており、また、選択肢も減っている実情が見えてきました。すぐに学生の理想とする自習スペースを開発・提供することは難しいですが、地域の方や企業と連携を図ることで、選択肢やスペースを増やせる可能性があることがわかりました。



### 3 子育て世代

いろいろな立場の7名の方からお話を伺いました。



子育て真ただ中の参加者の方からは、コロナ禍での生活やお子さんとの関わり、お子さん自身の変化などについて情報共有しました。



子育て広場の運営に携わる方からは、利用されているママさんたちの話として、コロナによって外出が少なくなり、実家にも帰れない、旦那さんがテレワークで家にいることで、ストレスが溜まってイライラしてしまうという共有をいただきました。



小学校の先生をされている方からは、コロナ禍の長期化につれて、最初は戸惑いが見え子どもたちが段々と順応し、新たな発見や成長、新しいことへのチャレンジができるようになっていっていると話がありました。



オーガニック料理教室の活動をされている方や別のオンラインイベントにも参加した方は、新しい生活様式で黙食が推奨される中、美味しいという気持ちをきちんと表現できることの大切さについてお話して下さったり、オンラインでも人と関わることで元気をもらうことができ、親が元気だと子供も家族も元気になるというお話をお聞きしました。

#### 子育て分科会 まとめ

子育てあるある話が盛り上がり、具体的な課題検討まで至れませんでしたでしたが、地域での交流が減少・縮小する中、こうした場の必要性を改めて実感する機会となりました。先行きの見えないコロナ禍において、子育てに忙しい方々でも気軽に話せる場が地域に増やせるようにしたいと感じる内容でした。



#### さいごに



当センター長の高木より、ご参加いただいた皆さんへお礼とあいさつを述べ、「えんがわフェスタ2021～調布のちょっと先の未来を描こう～」は閉会となりました。今回のえんがわフェスタでは、具体的な課題の解決策を検討する時間までは残念ながら至れませんでしたでしたが、改めて、地域の課題を地域に関わる多様な方々で話し合う場を継続的に設けていくことの重要性を感じました。

当センターとしても、今回の3つのテーマをこの検討で終わらせるのではなく、継続して地域の皆さんと考えていけるようにしたいと思います。

## 参加者のみなさんの声

- 色々な立場からのリアルな意見を聞く事ができた
- 自習室運営に役立つ話があった、まだまだできることはある
- オーガニック料理教室のオンライン、おにぎりを作るイベントに興味を持ちました
- 調布は住み続けたいまちになるように色々な方の協力を見せました
- 学生さんの現状が聞けたことと、理想的な自習室の実現の難しさを知れました
- コロナ禍における子育ての様々なケースを知ることができました
- もう少し時間があるとさらに良かったです
- こうした機会がないと会えない、話せない人と語り合えてよかったです
- また参加したいと思います
- It was better if we had more time to discuss the way forward.
- I participated in session I was very satisfied because everything went well... my audio,, translations and members
- 大変面白かったです！今後のヒントも頂けたのではないかと思います
- 様々な世代の人と交流することができてよかった

※当センターで解釈を加えずに、  
いただいたコメントのまま記載しています

